

「既設コンクリート橋梁の維持管理に関する体験講習会」 8月7日に金沢大学で自治体職員等を対象に主催

点検業務に従事されている自治体およびコンサルタントの職員が、
(1)弾性波等の非破壊試験、
(2)タブレット端末を用いた点検、
を体験・理解する。加えて、
(3)ボックスカルバートの破壊試験に立ち会い、劣化と安全性の関係を理解する。

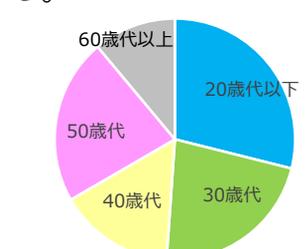
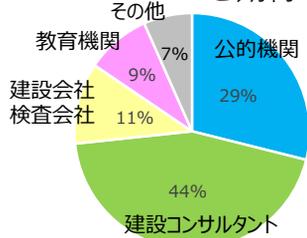
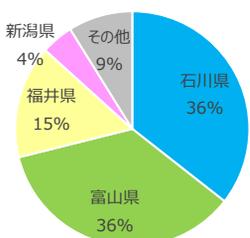


参加者からの感想

- ・ 実践的・具体的な内容で勉強になった。
- ・ 実機の扱い方、破壊の状況が見られ、良い機会になった。
- ・ 多くの自治体職員やコンサルが参加すると良い。
- ・ 録画動画の配信や資料の配布を期待する。

参加者の属性

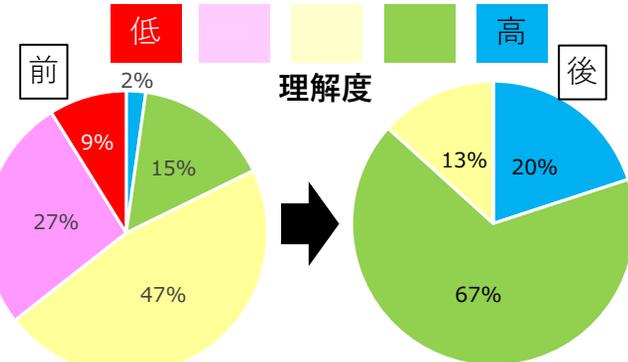
	参加者	
	全員	自治体
合計	63	17
対面	26	10
オンライン	37	7
うち アンケート回答	45	14



内容と理解度の変化

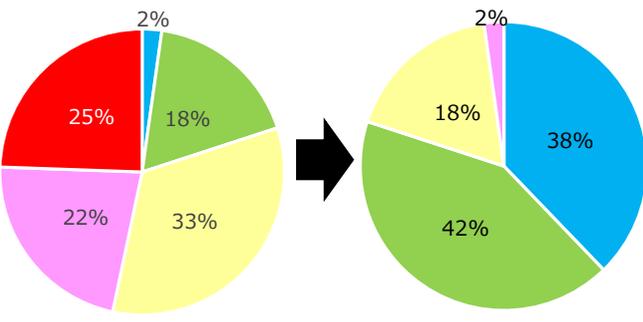
非破壊試験

電磁波や弾性波の非破壊試験手法の原理と機器の使い方を学習した後、実際に機器を使って鉄筋探査や部材厚さ推定、ひび割れ深さ推定を体験した。



点検要領改訂版 タブレット点検

タブレット端末を利用した橋梁概略点検システムについて、点検要領改訂に伴う改良や開発中のシステムの概要の説明を受けた後、操作を体験した。



模擬劣化を有する 実寸大の短支間橋を用いた 載荷試験

塩害を模擬した短支間橋（RCボックスカルバート）を対象に、荷重を作用させる破壊実験を公開し、ひび割れや変形などを確認した。

